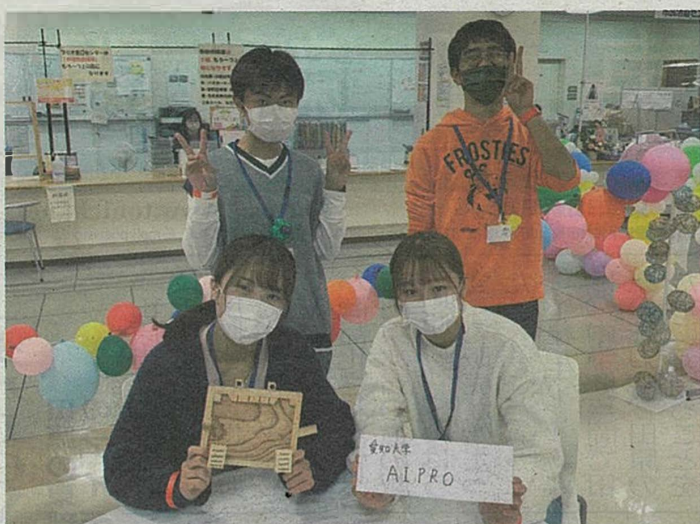


AIPROのメンバー



AIPRO

学生

地域貢献事業

第8回

動への参加意欲を向上させることも、目標の一つだ。

他の世代との交流

も、魅力のボランティア

ィア。高齢者に電子

回覧板の使い方を教

えるICT(情報通

信技術)ボランティア

アでは、「世間話をし

ながら楽しくやって

います。いい経験に

なります」と副代表

の3年、鈴木啓太さ

ん。

イン스타그램で発信
すること、同年代の
若者のボランティア活

昨年11月には、豊
川市諏訪3の商業ビ
ル「プリオ」であっ

イベント「えがお
フェス」にメンバー
全員で参加。端材を
使った写真立て作り
のブースを出展し
た。これまでボラン
ティアに縁遠かった
という1年生メンバ
ーは、「新しいことに
チャレンジできるの
は大学生ならでは。
来場した人の写真立
てを作るときの笑顔
や持ち帰るときの喜
んだ姿を見られ、す
た豊川市との縁をこ

ごころれしかつたで
す。これからもこっ
した活動を通じて、
やりがいを感じたい
と思います」と話す。

市民活動広報リポ
ーターとして情報発
信にも貢献。イベン
トに参加して原稿を
作成する上で、その
場の温度が伝わるよ
うな、そんな文章を
心がけている。

せっかくながっ
た豊川市との縁をこ

な

な

な

な



豊川市役所との打ち合わせの様子

れからも大切に。「自分たちでイベントを企画して、豊川市の方々と一緒に開催するのが大きな目標です」と、地域の盛り上げ貢献も目指す。

AIPROは20

18年発足。今年度

のメンバーは1、3

年の計6人だ。現在

の主軸であるボラン

ティア活動のほか、

当初は各地域貢献団

体を取材し、学部の

ホームページで記事

を配信していた。新

型コロナウイルス感

染症の影響で予定し

ていたボランティア

が相次いで中止にな

り、活動もままなら

ない状態が続く中、

稼働していた他の地

域貢献団体の力にな

ることで、再度取材を開

始。今度はSNSでの

発信を始めた。「とに

かくできる活動をや

ろうという思いでし

た」と鈴木さん。学

生地域貢献事業の縁

の下の力持ちのよう

な団体でもある。

(飯塚雪)

※協力・愛知大学

豊川市役所と連携情報発信など活動